

令和6年度「島内で働くことを考える会」に当たりまして

事業所の皆様におかれましては、年末の御多用の中、御来校いただき、誠に有難うございます。

本校は、現在1学年1学級の小さな規模ではありますが、来年度（令和7年度）創立60周年を迎え、創立以来の卒業生は4,769人にのぼり、島内においても町役場をはじめ、様々な事業所等で第一線を担っているとうかがっております。

また、本校は、本県の県立学校において、初めてコミュニティ・スクールに認定され、学校運営協議会の委員の方々との繋がりを基軸としながら、地域の多様な方々をはじめ様々な資源を活かし、「開かれた学校づくり」を推進しているところです。

本校における教育活動の柱としまして、地域に根差したキャリア教育及び課題解決型の学びの推進を掲げております。具体的には、1年生後半から2年生にかけての「パブリックワーク活動」において、例年、子育て、福祉、町づくり、水産業等の各分野から探究すべき課題を見出し、その解決を図っていくために考察を重ね、高校生の視点から地域社会に対して提言を行っております。さらに、こうした活動を核としながら日々の授業等も含めた学校の教育活動全体において、系統的に社会において必要とされる資質・能力の育成を図っております。

こうした課題を掘り下げていく活動を展開する一方で、ふるさとである新上五島町の魅力についても理解を深め、情報の共有を図ることを目的とする機会を設定しております。本年6月には、生徒をはじめ、保護者、同窓会、学校運営協議会等の方々協働しながら異年齢集団による意見交換を行う「域生デー」を初めて開催し、「新上五島町の一押し」をテーマに掲げて取り組みました。

ところで、長崎県庁4階には「ながさき移住サポートセンター」が設けられており、同センターによりインターネット上に「ながさき移住ナビ」というサイトが開設され、「新上五島町の魅力」について触れられています。そこには、「雄大な自然が作り出す美しい風景や特産品など魅力はたくさんありますが、一番の魅力は島民の優しさです。」と記載されています。

本日、御来校いただきました事業所の方々は、町民の生活を生産活動はもとより、人間が生きていく上で欠かせない食を含む様々な面から日常生活を支えていただいております。「優しさ」を体現する上で欠かせない安定した環境の構築に尽力されております。

生徒の皆さんは、1年生が11月に島内インターンシップを終えてこれからパブリックワークに取り組むことになり、2年生が10月のパブリックワーク発表会を経て、今後はチームとして外部との一層の連携を図ってパブリックワークでの提言を実行する等といった学びを深めるとともに、個々の進路実現に向けて真摯に取り組む時節を迎えています。

本会の目的は、「島内で活躍している方々に、島内で働くことの意義や魅力、将来性や課題についての講話をしていただき、進路意識の高揚と仕事についての理解を深め、同時に郷土愛を育む。」ということでもあります。生徒の皆さんは、積極的に参加して自らの学びを深め、社会・職業への円滑な移行に欠かせないキャリアプランニング能力等の基礎的・汎用的能力を培っていくことを期待しています。

最後になりますが、本日御来校いただきました各事業所及び講師の方々の益々の御発展をお祈り申し上げ、挨拶いたします。本日は、よろしく願いいたします。